

核燃・だまっちゃおられん津軽の会
第30回市民講座



https://blog.goo.ne.jp/kurogane_2013/e/2d5c3882c79a2b1f926c6bd4bca65476



https://blog.goo.ne.jp/kurogane_2013/e/2d5c3882c79a2b1f926c6bd4bca65476



http://www.huffingtonpost.jp/2014/02/24/bikini-atoll_n_4850917.html



<http://健康法.jp/archives/21211>

戦後政治と「原子力の平和利用」

－なぜ被爆（曝）国の日本が原子力開発を始めたのか？－



おおたに しんじ
講師 大谷 伸治氏
(弘前大学教育学部)

ヒロシマ・ナガサキ、そしてビキニ。3つの被爆（曝）体験は、原水爆禁止運動に結実します。しかし同時に「原子力の平和利用」の名のもと、原子力開発も始まります。それはなぜかー。

3.11後に本格化した歴史学における日本原始力開発史研究の最新の成果をもとに、戦前・戦中とのつながりや「原子力の平和利用」と55年体制のかかわりについてお話しします。

日時 2019年10月17日（木）18時00分～20時00分

会場 弘前文化センター視聴覚室(弘前市下白銀町19-4 / TEL 0172-33-6571)

参加費 300円

主催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会

お問い合わせ 核燃・だまっちゃおられん津軽の会事務局

(永瀬範明 TEL 0172-39-3535/E-mail: snaga@hirosaki-u.ac.jp)